

1.動作概要

TeraTemに入力されたコマンド(write or read)に従って、writeコマンドの場合は入力された文字をFlash ROMに保存し、read コマンドの場合は Flash ROMに保存したデータを読み込んで Tera Term に表示します。

2.ボード設定方法

評価ボードの以下を結線します。

CN5 1-2 3-4 CN4 13-14 15- 1 6 17-18 19-20 21-22 23-24

3.基本動作

Tera Temに "command >"が表示されるので、下記の write もしくは read コマンドのフォーマットに従って入力された文字をFlash ROM (0x00000000番地)に保存し、read コマンドの場合はFlash ROM(0x00000000番地)に保存されているデータを読み込んで Tera Term に表示します。
また、dampコマンドにより、Flash ROMのデータをTera Termに表示します。

・コマンドフォーマット：

write コマンド

write_ X

X:任意の文字（16文字以内）

read コマンド

read

dampコマンド

xxxxxx:開始アドレス（16進数:0～FFFFFF）

damp_ xxxxxx_ yyyy

yyyy:表示バイト数（16進数:0～FFFF）

開始アドレス、表示バイト数省略時は、damp 0

TMPM4G9

- UART設定 : PortE3,ボーレート115200, データ8bit、パリティなし、ストップビット1bit、フロー制御無し
- FLASH ROM : S25FL512SAGBHI310
- SMIF Channel :
 - SMIOD0 PK2
 - SMIOD1 PK3
 - SMIOD2 PK4
 - SMIOD3 PK5
 - SMIOSCK PK6
 - SMI0CS0_N PK7

4.出力例

```
command > write testdata  
write data > testdata
```

```
command > read  
read data > testdata
```

```
command > dump 0 20  
dump data >  
0x00000000: 74 65 73 74 64 61 74 61 00 FF FF FF FF FF FF FF
```